

高周波熱処理 受託加工の事例紹介

長年の経験と実績がもたらす信頼と安定の高周波熱処理

高周波熱処理は、被処理物の一部を高周波コイルを使って加熱し、直ちに冷却水を吹き付けて焼入れします。被処理物の組成に応じて、Hv400-800の表面硬さが得られます。部品全体を加熱しないため、部品の変形が小さいことも特徴です。複雑形状を持った部品の耐摩耗性向上に適しています。

高周波熱処理された部品の例



これらの事例のほかに、全長1mを超えるクランク軸、直径数十cmの耐摩板などもあります。どんな形状の品物であっても、長年の経験と実績、多種多様な加熱コイルの保有（右写真はその一部）により、品物一つからでも迅速に対応いたします。



当研究所の高周波焼入れは1946年開始と、長い歴史を有しており、表面硬化熱処理の業界では知る人ぞ知る老舗です。軸や歯車、しゅう動板、ガイドといった鉄鋼材料などの摩耗でお困りの場合は、ぜひ一度当研究所にご相談ください。